

「大切な自然と安心できる暮らしをみんなで守り、育てるまち いんざい」

を目指して



今日の環境問題は、生活排水等による河川の水質汚濁、自動車による大気汚染や騒音・振動などの都市生活型公害や地球温暖化を代表とする地球規模の問題など多岐にわたり、それらすべてが私たち人間の日常生活や事業活動により引き起こされたものです。

環境問題を解決していくためには、私たち一人ひとりが環境に対する関心を深め、できることから行動していく必要があります。

このような状況を踏まえ、本市では環境の保全・創出に関する取り組み等を掲げた「印西市環境基本計画」を策定しました。市の事務・事業の中では「印西市庁内エコプラン」に基づいた地球温暖化防止対策を実施し、市民・事業者の皆様には環境配慮の指針となる「印西市環境行動指針」を通じて環境にやさしい行動を実践していただけるよう普及啓発をしてまいりました。

また、平成17年度からは、環境への負荷の低減を図り、地球温暖化防止等環境の保全を目的とした太陽光発電システム・太陽熱利用温水器の設置に対する補助を開始し、自然エネルギーの利用に向けた普及啓発を図っているところです。

「印西市環境白書 2006（平成18年度版）」は、「印西市環境基本計画」に掲げた平成17年度における取組みの進捗状況、「印西市庁内エコプラン」による温室効果ガス排出量の削減状況、新たな環境問題の情報や対応状況など、印西市における環境の現状と環境保全に関する施策の概要を取りまとめ、広く市民の皆様にご公表するものです。

市民・事業者の皆様方には、この環境白書を通じて環境問題への理解をさらに深めていただき、印西市の環境行政の推進に一層のご理解・ご協力をお願い致します。

最後に、この環境白書の作成にあたって、ご指導やご意見をいただいた「印西市環境審議会」、「印西市環境推進市民会議」、「印西市環境推進事業者会議」の委員の方々をはじめ、アンケート調査にご協力いただいた市民、事業者の皆様にご心から感謝を申し上げます。

平成18年10月 印西市長 山崎 山洋

印西市環境白書 平成18年度版 目次

はじめに

1 環境白書作成の趣旨	1
2 環境基本計画の体系	2
3 庁内エコプランの取組み	3
4 環境白書の構成	4
5 印西市の環境の状況と今後に向けて	4

第1章 環境基本計画の評価

1-1 自然を身近に感じられる“まちづくり”(基本目標)	5
1-2 安心して生活できる“暮らしづくり”(基本目標)	6
1-3 みんなで環境を育てる“しくみづくり”(基本目標)	8

第2章 個別目標の進捗状況

2-1 樹林地や農地を守り、育てる(個別目標)	9
2-2 さまざまな生き物を守る(個別目標)	13
2-3 親しみのある水辺をつくる(個別目標)	15
2-4 まちの緑を増やす(個別目標)	17
2-5 歴史や文化を大切にする(個別目標)	20
2-6 空気をきれいにする(個別目標)	22
2-7 水や土をきれいにする(個別目標)	25
2-8 騒音や振動などを低減する(個別目標)	29
2-9 有害化学物質による汚染を防ぐ(個別目標)	32
2-10 エネルギーを有効に利用する(個別目標)	35
2-11 ごみの量を減らし、資源の循環を進める(個別目標)	38
2-12 不法投棄やポイ捨てをなくす(個別目標)	41
2-13 環境情報のネットワークをつくる(個別目標)	44
2-14 環境について学び、理解する(個別目標)	46
2-15 環境活動を進める(個別目標)	49

第3章 重点プロジェクトの進捗状況

3-1 里山の保全・活用モデル事業の推進	51
3-2 生物モニタリング調査の実施	52
3-3 町営塵芥焼却場跡地の環境調査の推進	53
3-4 生ごみ減量堆肥化の推進	54
3-5 印西市環境マップの作成	55
3-6 印西市環境行動指針の作成	56

第4章 庁内エコプランの進捗状況

4-1 温室効果ガスの排出状況	58
4-2 温室効果ガスの総排出量の推移	59
4-3 取組みの実施状況	60

資料編

1 環境に関する統計データ	資料-1
2 環境に関する市民・事業者意識調査 集計結果	資料-21
3 温室効果ガス排出量の算出方法	資料-54
4 環境推進会議委員からの意見・提案	資料-56
5 環境審議会委員からの意見・提言	資料-57
6 用語解説	資料-58